

ピスガからの風

第47号

2017年10月

社会福祉法人 近江ちいろば会

ピスガこうせい 〒520-3242 滋賀県湖南市菩提寺327-4

TEL.0748-74-3900(代表)
FAX.0748-74-3910
http://chiiroba.jp/



理事長 森 口 茂

お陰様で、創業22周年を9月に迎えることができました。多くの皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。これから高齢者のニーズは益々増える中、働く人の確保が大きな課題となります。近江ちいろば会は、地域包括ケアの推進法人、地域造りに貢献している法人として利用者様から働く人から指名されるようにブランディング強化に努めてまいります。

近江ちいろば会の職員は、介護保険事業や老人福祉施設の運営の枠に留まらず、地域社会に貢献する多様な働きをしております。

地域社会に貢献する職員 街なか 小規模 だからできる

地域社会づくり

- * つどいCAFÉ (いこい)、喫茶(ふれあい・ケアハウス) 1/週
- * うたごえ(ふれあい、ケアハウス) 1~2/月
- * 健康教室(ふれあい) 1/月
- * コグニサイズウォーキング(ふれあい) 1/週
- * 裁縫教室・お出かけ・映画会・食事会(ふれあい) 1/月
- * コンサート (ふれあい) 1/週

孤立防止

- * 男性家族者の会(認知症デイ) 3/年
- * 家族会 (グループホーム、デイ)
- * 高齢者支援センターの相談

地域社会との共生

- * 地域の夏祭りに参加 (グループホーム、小規模、デイ、ヘルパー)
- * 自治会活動に参加 (みなくち、消防訓練、常会等に参加)
- * 認知症発見保護訓練に参加
- * バザー (いこい、ヘルパー、おしどり、ゆめとま)

質の高い仕事

- * 看取りの取り組み (グループホーム、ケアハウス)
- * 若年性認知症の方受け入れ(認知症デイ)
- * 医療ニーズの高い方受け入れ(デイ、訪問看護)
- * 在宅での生活を豊かに支える専門性の高い訪問(ヘルパー)
- * 直営の厨房 地産地消の食材、多様な形態食

平成28年度の決算報告

貸借対照表(全施設合計) 平成29年3月31日現在 (単位:円)		事業活動計算書 平成28年4月1日~平成29年3月31日 (単位:円)			
資産の部	負債の部	勘定科目	当年度決算額	勘定科目	当年度決算額
流動資産 333,323,919	流動負債 65,048,363	サービス活動	626,562,532	特別増減の部	2,799,798
固定資産 1,165,991,680	固定負債 172,855,722	サービス活動費用計	566,854,466	特別費用計	2,784,002
(基本財産) 865,366,464	負債の部合計 237,904,085	サービス活動増減差額	59,708,066	特別増減差額	15,796
(その他の固定資産) 300,625,216	純資産の部	サービス活動外収益計	9,517,417	当期活動増減差額	64,349,812
	基本金 92,980,024	サービス活動外費用計	4,891,467	繰越活動増減差額の部	618,394,369
	国庫補助金等特別積立金 436,714,802	サービス活動外増減差額	4,625,950	繰越活動増減差額の部	682,744,181
	その他の積立金 57,708,907	経常増減差額	64,334,016	基本金取崩額	0
	次期繰越活動増減差額 674,007,781			その他の積立金取崩額	1,263,600
	(うち、当期活動増減差額) 64,349,812			その他の積立金増立額	10,000,000
	純資産の部合計 1,261,411,514			次期繰越活動増減差額	674,007,781
資産の部合計 1,499,315,599	負債及び純資産の部合計 1,499,315,599				

財産目録 平成29年3月31日現在 (単位:円)

流動資産	333,323,919	固定負債	172,855,722
固定資産	1,165,991,680	差引純資産	1,261,411,514
流動負債	65,048,363		

寄付金・後援会費 感謝報告

2017年4月1日~9月10日現在 [順不同・敬称略]

後援会	後援者	金額	後援会	後援者	金額
日本基督教団水口教会	小藤 謙二	10,000	近江建設	近江建設	10,000
近江和司	田中 和司	5,000	近江建設	近江建設	10,000
小野隆司	田中 和司	5,000	近江建設	近江建設	10,000
遠藤原田	田中 和司	5,000	近江建設	近江建設	10,000
前田植野	田中 和司	5,000	近江建設	近江建設	10,000
植野藤野	田中 和司	5,000	近江建設	近江建設	10,000
伊勢野山	田中 和司	5,000	近江建設	近江建設	10,000
平松成	田中 和司	5,000	近江建設	近江建設	10,000
吳吉生	田中 和司	5,000	近江建設	近江建設	10,000
松平千鶴子	田中 和司	5,000	近江建設	近江建設	10,000

事業内容

ケアハウス ピスガこうせい/ぼだいじデイサービスセンター/ぼだいじホームヘルパーステーション/ぼだいじ居宅介護支援センター/高齢者支援センターぼだいじ/グループホームぼだいじ/中央デイサービスしんあい/小規模多機能型居宅介護 ぼだいじみんなの家/みなくちみんなの家(グループホーム、デイサービス、ケアプランセンター)/ぼだいじ訪問看護ステーション/デイケアの家おしどり/ゆめとまの家おしどり

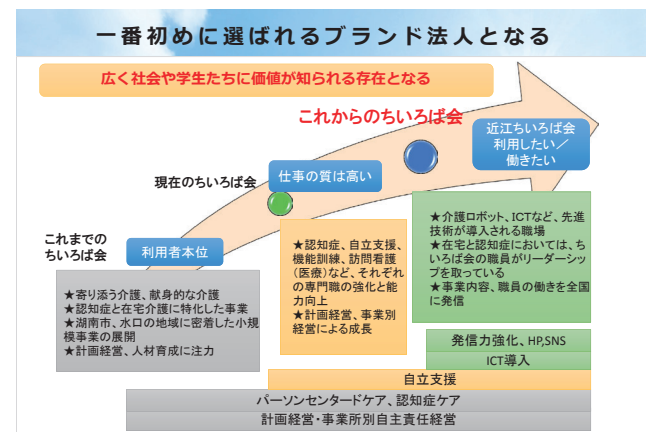
創立22周年祝賀会が盛大に開催されました。

日時 2017年9月1日(金) 19時~21時
会場 クサツ エストピアホテル
参加者 126名

創業者の後宮俊夫氏、前理事長 奈良馨夫氏や役員の方々、職員が参加して創業の精神を学び、これからのビジョンを明確にして、今後ブランディング強化に取り組んでいくことが確認されました。

その後、美味しい食事を頂きながら、永年勤続表彰、現場で特筆すべき取り組みをおこなった職員を表彰する個人表彰、最後にはお楽しみ抽選会を行い楽しい祝賀会となりました。

ブランディングの取り組み



祝賀会の様子



ビジョンを報告

前理事長(奈良馨夫氏)のご挨拶

創業者 後宮俊夫氏 お祈り

10年勤続者 萩原沙織氏、上西由季氏

計画達成 大賞 ぼだいじみんなの家

会場の様子

個人表彰受賞者(理事長賞) 鶴岡由美子氏

ちいろばース、おしどりバンド演奏

大抽選会 40ヶ当たりました。

中締め 今後の決意表明

基本理念：人にしてもらいたいと思うことを、人にもしなさい。

私たちはキリスト教の精神に基づいて、高齢者の全生活において、「隣人愛の奉仕」を実施することを基本理念とします。

発行日 2017年9月

発行責任者

理事長 森 口 茂

振込口座

取り扱い金融機関 郵便局
口座番号 00960-0-109363
社会福祉法人 近江ちいろば会
会費:年額1口 5,000円(何口でも可)

「萎えたるは萎えたるまに美しく」

評議員 望月 修治
(同志社教会牧師)

社会学者の鶴見和子さんはたいへん印象的な晩年を過ごされた方です。哲学者鶴見俊輔さんのお姉さんです。脳梗塞で半身麻痺になった父・祐輔さんを14年間にわたって介護されました。1995年、阪神淡路大震災が起こった年、そしてピスガこうせいが設立された年でもあります。この年に和子さんも脳梗塞で倒れ、左半身が麻痺し、車椅子生活を送ることになりました。京都の有料介護施設に入居し、職員や親族の手厚い介護を受けながら、亡くなられるまで10年間を歩まれました。この最晩年の10年間の仕事で、鶴見和子さんは大ブレイクします。鶴見さんの仕事を知る人の中には、脳梗塞に倒れてからの10年間があつてよかったと言われる方が少なからずおられます。「鶴見和子の仕事」は倒れる前・倒れた後で、ちょうど紀元前・紀元後のように、明確に区切りをつけることができるというのが定まった評価です。

病のち、鶴見和子さんが詠んだ短歌に次のような作品があります。

「感受性の貧しかりしを嘆くなり 倒れし前の我が身 我がこころ」

倒れてからの鶴見和子さんの仕事は社会学という領域をこえるものでした。学問、歌、踊り、それまで培ってきたあらゆる要素をフル稼働して、作品を著し、専門分野以外でも読者のファン層は広がりました。脳梗塞に倒れる、それは言うならば自分の視点を低くされる、低みに立たされるという経験をするということでもあります。今まで自由に動いていたものが、車椅子によらなければ歩けなくなる。それは低みに立ってものを見るという立ち位置に自らが立つことになったということです。しかしそのことで鶴見和子さんが見た世界は豊かでした。「感受性の貧しかりしを嘆くなり 倒れし前の我が身 我がこころ」という短歌には、鶴見さんが病に倒れた後に見出した世界の豊かさがにじみ出ています。

そしてまた鶴見和子さんは次のような短歌を残されました。

「萎えたるは萎えたるまに美しく 歩み納めむ この花道を」

ものを見る視点を低みにおき、歩んで来た道、いま歩んでいる道、これから歩んで行く道を見直してみる。その生き方が人に味わわせてくれるものに、わたしは深く魅かれます。

人生の中の老いという時期には、見ること、聞くこと、話すこと、考えること、歩くこと、物を持つこと、そのほか日常生活の中でいろいろな変化が起こっていきます。それは確かに「萎えたる」です。しかし「萎えたるは萎えたるまに美しく」という鶴見和子さんの老いと向き合い方は、介護した人たち、世話をした人たちにとっても支えとなり、癒しともなったはず。人生という時間を、たくさんのことを体験し長く歩んだからこそ、分かること、気づけることがあります。その「美しさ」が分かり、受けとめることのできる者でありたいと思うのです。

近畿老人福祉施設研究協議会 和歌山大会で発表しました。

日頃取り組んでいることを発表することで、纏める力、表現力が向上したと思います。

2017年7月11日～12日

事業所／発題者 ケアハウス ピスガこうせい
中野 唯、山内 千鶴
テ — マ 入居者様自らが生き生きと生活するために自主的に活動していただける取り組み

事業所／発題者 ぼだいじデイサービスセンター
本郷 貴士、奥田教皓
テ — マ 利用者様が出来るだけ長い間、在宅でお過ごしいただけるための自立支援、機能訓練の取り組み



特集 夏祭り

7月29日(土) ぼだいじ 夏祭り

職員が総出で、司会、演奏、屋台の売り子、もてなしで、ご利用者様、ご家族様、地域の方々と交流することができました。職員のチームワークもよく、期待以上の楽しい夏祭りでした。



司会の息もびったり



谷畑英吾市長のご挨拶



ちろばーズの演奏



松山克子先生と職員のコラボ



シンセイサイゾウの演奏
井上正廣先生
迫力ありました。

8月27日(日) みなくち みんなの家 夏祭り

第6回夏祭りを行いました。当日は天気にも恵まれ、入居者、ご家族、地域、行政の100名を超える方にご参加いただきました。

今年度は職員の出し物、尺八と三味線演奏を聴きながら、流しそうめんやたこ焼き、ちらし寿司など模擬店の手作りの料理を味わい夏の楽しいひと時となりました。

入居者の方からは、「思い出に残る一日になった。」と感想をいただき、今後も入居者の方に充実した時間を過ごしていただけるよう、日々の生活や非日常行事を大切にしていきたいと思っております。ご協力いただいた皆さま、本当にありがとうございました。



三上台夏祭りに参加 7月22日(土)



デイサービスいこい、ヘルパーステーション (焼きそば 販売)

北山台夏祭り 7月22日(土)



グループホームぼだいじ (わらび餅 販売)

中央区夏祭り 7月29日(土)



中央デイサービスしんあい (手作りわらび餅 販売)

地域の夏祭りに、屋台をだして、地域の人たちと交流することができました。地域の一員として、働くことが出来感謝しています。とびっきり美味しい「焼きそば・わらび餅」の販売を通して利用者様・入居者様は働いていた頃に戻られた気分になられていました。